

# 私のこの一年の変化

2022年12月25日 太田隆次

## コロナ禍のこの一年の変化

先週5回目のコロナの感染予防接種を受けました。用心して入浴もせず家にこもって「じっと我慢の子」だったせいか、副反応もなく無事に年末年始を迎えられそうです。

しかし、日本政府や自治体の発表や感染対策の医療関係の専門家達の連日にわたる解説によると、今日現在、感染数は増える一方で終焉には ほど遠いのに、社会生活と経済がもたないというので、「航空機OK」「旅行・外出OK」などに踏み切っています。

## 家族のこの一年の変化

孫息子が研修医期間を終え 暫くは自治医大病院で武者修行するようです。  
図らずも息子と孫息子と二代続けて医師の道を歩むことになりました。

もう一人の孫息子（以前、高津ZOOM28サロンに出させて頂いたアメリカ在住の娘の長男）が今年、ニューヨークの大学の美術学部を今年6月に卒業しました。孫娘はカリフォルニアのクレアモント大学に在学中です。

2歳違いの妹が岡山県玉野市の民間介護施設で、今年の春に病気で亡くなりました。それ以来、介護施設の実態に興味を持つようになりました。

## 私の買い物生活のこの一年の変化

車も手放し一人暮らしになりスーパーも遠いとなると、たちまち困るのが 日用品と食料品の買い物です。 この一年でアマゾンのネット販売や生協（生活協同組合）が革命的に変化したと想います、

この一年で：

アマゾンパソコンで、冷凍品と生鮮食料品を**除き**「何でも自宅へ配達する小売」  
生活協同組合は配達人に、冷凍品と生鮮食料品**なら**「何でも自宅へ配達する小売」  
と大変身しました。 例えば

アマゾン：パソコンで、雑誌、書物一冊、ラーメン一個、ベルト一本、洗剤など

生協： 配達人経由で、冷凍刺身、冷凍牛肉、握りずし、冷蔵の皮むき里芋などが簡単に届けてくれます。

特にこの一年の冷凍技術の発展で、2分程度水を流すだけで 常温で食べられる冷凍食品が非常に多くなりました。

終わり